

2019年度第2回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 2019年5月29日(水) 10:30~11:50

場 所 6号館2階第1会議室

出席者 唐澤理事長、小越副理事長、松江理事、牛山理事、樋口理事、宮坂理事、河嶋監事、柴田監事、(濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長)

欠席者 船木理事

[配付資料]

- 1 2018年度業務実績報告書(案)(資料1)
- 2 2019年度年度計画(案)(資料2)
- 3 2018年度卒業生進路状況(資料3)

[議 事]

1 議題

(1) 2018年度業務実績報告書(案)について

小越副理事長および牛山理事から資料1をもとに、2018年度業務実績報告の項目ごとの評価について、図書館の利用者数や県内企業就職率、地域連携研究開発機構の担当教員数が目標値を大幅に上回ったこと、地域との連携に関しては出前授業等、順調に進んでいること、業務の効率化に関しては外部研修の参加等積極的に行っていること等説明があった。また、唐澤理事長から各項目の評価を総合的に判断し、全体の評価として「中期計画の進捗は順調である」と結論づけたとの説明があった。

審議の結果、業務実績報告書の原案について承認され、次回の理事会において2018年度の決算も含めた報告書を確認いただいた上で、最終的な承認を得ることとなった。

(2) 2019年度年度計画(案)について

小越副理事長および牛山理事から資料2をもとに、2019年度の事業計画について、推薦入試の地域枠への出願増進を目的として高校訪問を積極的に行うこと、地域連携研究開発機構の予算配分についてプロジェクト申請型の配分とすること、社会人向けIoT・AI講座を実施すること等説明があり、審議の結果、原案が承認され、事務組合に届出することとなった。

なお、これに関連して柴田監事から、大学院生、留学生の増加に向けた方策はあるかとの質問があり、大学院については大学院生の発表会に学部生を参加させる、進路ガイダンスにて進学に関する説明を行う機会を設ける等を検討していること、留学生については奨学団体からの支援を活用すること、入試の面接をインターネットで行い渡航費用の負担を減らすことを検討しているとの説明があった。また、樋口理事から人事制度関係の施

策項目について 2018 年度は評価が低くなっていたが、2019 年度はどのように実施していくのかとの質問があり、これまで学校法人東京理科大学の評価制度にもとづき評価を行っていたが、公立化して独自に制度を定めたので、それに基づき評価を行っていくとの説明があった。

(3) 2018 年度卒業生進路決定状況について

加藤教務・学生支援課長から資料 3 をもとに、標記の件について、就職決定率は 96.5%、進学決定率は 100%であったこと、諏訪地域への就職者は 24.3%、長野県内への就職者は 66.2%であったこと等報告があった。

以上